



# 平成30年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月11日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド  
 コード番号 9720 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年11月期第3四半期の業績(平成29年12月1日～平成30年8月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	3,611	0.6	149		154		208	
29年11月期第3四半期	3,634	10.5	298		300		273	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	186.09	
29年11月期第3四半期	244.84	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年11月期第3四半期	8,515	2,798	32.9	2,384.77
29年11月期	8,109	2,835	35.0	2,548.36

(参考)自己資本 30年11月期第3四半期 2,798百万円 29年11月期 2,835百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		0.00	0.00
30年11月期		0.00			
30年11月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,050	0.0	3		2		18		15.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期3Q	1,173,428 株	29年11月期	1,171,280 株
期末自己株式数	30年11月期3Q	83 株	29年11月期	58,421 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期3Q	1,119,736 株	29年11月期3Q	1,117,749 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成30年8月6日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分により、自己株式58,400株を処分いたしました。平成30年11月期の通期業績予想の記載の「1株当たり当期純利益」は、普通株式58,400株を加え算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や設備投資の増加、雇用環境が改善するなど、緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、一方では米国と中国・EUによる貿易摩擦の激化、新興国の景気減速など、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間の売上高は、3,611,412千円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、前期にホテル事業の有形固定資産を減損処理したことにより減価償却費が減少したため、2,641,695千円（前年同四半期比6.4%減）となりました。営業損失は149,897千円（前年同四半期は298,044千円の営業損失）、経常損失は154,942千円（前年同四半期は300,164千円の経常損失）となりました。

また、当第3四半期累計期間の四半期純損失は208,373千円（前年同四半期は273,665千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会（婚礼）需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (ホテル事業)

ホテル事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,568,035千円（前年同四半期比0.6%減）、営業損失179,477千円（前年同四半期は327,738千円の営業損失）となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門920,395千円（前年同四半期比6.5%減）、レストラン部門1,053,037千円（前年同四半期比0.7%減）、宴会部門1,308,916千円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高43,377千円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益29,580千円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の分析

##### (資産)

資産合計は8,515,114千円（前事業年度末比405,735千円増）となりました。

主な要因は現金及び預金136,082千円の減少や、前払費用30,067千円の減少、未収還付法人税等22,880千円の増加、未収消費税等42,984千円の増加、有形固定資産512,373千円の増加、投資その他の資産8,702千円の減少などです。

##### (負債)

負債合計は5,716,956千円（前事業年度末比443,544千円増）となりました。

主な要因は買掛金138,864千円の減少や、未払法人税等65,538千円の減少、未払消費税等162,036千円の減少、未払費用105,134千円の減少、長期借入金1,000,000千円の増加、役員退職慰労引当金135,525千円の減少などです。

##### (純資産)

純資産合計は2,798,158千円（前事業年度末比37,808千円減）となりました。

主な要因は資本金1,451,778千円の減少や、資本剰余金2,624,592千円の減少、利益剰余金3,884,519千円の増加、自己株式162,407千円の減少などです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、平成30年7月12日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	596,849	460,767
売掛金	272,434	272,556
原材料及び貯蔵品	92,236	95,504
未収還付法人税等	-	22,880
未収消費税等	-	42,984
その他	60,081	32,621
貸倒引当金	△50	△50
流動資産合計	1,021,551	927,264
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,573,998	7,757,547
減価償却累計額	△4,421,734	△4,475,573
建物(純額)	3,152,264	3,281,974
建物附属設備	5,344,730	5,692,924
減価償却累計額	△4,453,167	△4,533,518
建物附属設備(純額)	891,563	1,159,406
土地	2,548,115	2,548,115
その他	1,717,598	1,898,627
減価償却累計額	△1,488,856	△1,545,380
その他(純額)	228,741	353,246
建設仮勘定	39,895	30,211
有形固定資産合計	6,860,580	7,372,953
無形固定資産	56,136	52,490
投資その他の資産	171,109	162,406
固定資産合計	7,087,827	7,587,850
資産合計	8,109,379	8,515,114
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	372,433	233,568
短期借入金	300,000	385,000
1年内返済予定の長期借入金	620,000	620,000
未払費用	279,013	173,879
未払法人税等	65,538	-
未払消費税等	162,036	-
未払事業所税	15,961	11,897
前受金	127,606	172,171
引当金	3,754	22,320
その他	152,235	91,990
流動負債合計	2,098,579	1,710,827
固定負債		
長期借入金	1,260,000	2,260,000
長期未払金	-	33,150
再評価に係る繰延税金負債	503,998	503,998
退職給付引当金	993,800	927,472
役員退職慰労引当金	135,525	-
長期預り保証金	281,508	281,508
固定負債合計	3,174,832	4,006,129
負債合計	5,273,412	5,716,956

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	2,003,222
資本剰余金	2,957,541	332,948
利益剰余金	△4,092,892	△208,373
自己株式	△162,693	△286
株主資本合計	2,156,955	2,127,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,985	△23,349
土地再評価差額金	693,996	693,996
評価・換算差額等合計	679,011	670,647
純資産合計	2,835,966	2,798,158
負債純資産合計	8,109,379	8,515,114

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	3,634,473	3,611,412
売上原価	1,109,506	1,119,614
売上総利益	2,524,967	2,491,798
販売費及び一般管理費	2,823,011	2,641,695
営業損失(△)	△298,044	△149,897
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,843	1,887
還付加算金	2,129	-
固定資産売却益	-	823
その他	671	707
営業外収益合計	4,644	3,417
営業外費用		
支払利息	6,468	8,372
その他	295	90
営業外費用合計	6,764	8,463
経常損失(△)	△300,164	△154,942
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	29,475
特別利益合計	-	29,475
特別損失		
固定資産除却損	561	72,690
その他	-	7,162
特別損失合計	561	79,853
税引前四半期純損失(△)	△300,725	△205,320
法人税、住民税及び事業税	45,933	3,052
法人税等調整額	△72,993	-
法人税等合計	△27,060	3,052
四半期純損失(△)	△273,665	△208,373

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年2月22日開催の第140回定時株主総会決議に基づき、平成30年3月10日付で、資本金1,455,000千円及び資本準備金900,000千円をその他資本剰余金に振り替えた後、その他資本剰余金4,092,892千円を繰越利益剰余金の欠損補填に充当いたしました。なお、株主資本の合計金額に、著しい変動はありません。

また、平成30年7月19日の取締役会決議に基づき、平成30年8月6日付で、原 信造氏及び原地所株式会社を引受先とした第三者割当による自己株式58,400株の処分を行っております。この自己株式の処分等により、当第3四半期累計期間において資本剰余金が10,453千円増加、自己株式が162,585千円減少し、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が332,948千円、自己株式が286千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,591,036	43,436	3,634,473	-	3,634,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,591,036	43,436	3,634,473	-	3,634,473
セグメント利益又は損失(△)	△327,738	29,693	△298,044	-	△298,044

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,568,035	43,377	3,611,412	-	3,611,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,568,035	43,377	3,611,412	-	3,611,412
セグメント利益又は損失(△)	△179,477	29,580	△149,897	-	△149,897

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。